

# 明治期砂防堰堤調査プロジェクト を実施しました

木曾三川フォーラムが主催した「明治期砂防堰堤調査プロジェクト」にオブザーバーで参加・協力しました。

当日は木曾三川フォーラムのメンバーをはじめ、調査・協力団体として中部産業遺産研究会、長良郷土史クラブ、地元関係者の方々や報道関係者、岐阜県、岐阜市の行政機関等も参加し約30名で調査を行いました。

1. 実施日 平成26年12月13日（土）
2. 場 所 岐阜市長良志段見地内（「松尾池」周辺溪流）
3. 内 容 （1）現地調査：砂防堰堤の現況測量  
（2）意見交換会：現地調査の結果報告及び意見交換等
4. 調査団 中部産業遺産研究会 6名
5. 目 的 デ・レーケの木曾川下流域の改修工事は周知の事であるが、その工事に先駆けてデ・レーケが長良・揖斐川の直轄砂防工事を指導していた事が「日本砂防史」に記載されており、当地域（岐阜市長良志段見地内）に設置されている堰堤が該当するの  
のかか確認を行うため、今回のプロジェクトで現地調査を実施し施工された年代の特定する事を目的とした。
6. 報 告 現地調査で確認できたのは、堰堤の基礎に「松丸太」を使用  
（中 間）して施工されている事を確認。  
基礎に「松丸太」を用いての施工は古くから城の石垣の築造に用いられる工法で、今後は今回の測量データを基に土木構造的見地から「石積み」構造を解析し年代特定の検証を試みます。



砂防堰堤の測量状況



砂防堰堤基礎の確認



「松丸太」の確認

木曾三川フォーラム

木曾三川の川づくりや流域環境について継続的に情報提供や意見交換を行い、お互いの信頼関係を深めながら、市民と行政の協働による川づくりを進めることを目的に木曾三川フォーラムが発足しました。